

シリーズ
奥多摩の野鳥

■ハシボソガラス Vol.103



漢字名：嘴細鴉 レア度 ★☆☆☆
スズメ目／カラス科

- **大きさ** 全長50cm
- **なき声** 「ガーァ ガーァ ガーァ」
- **特徴** 雌雄同色。全身が黒いが、光が当たると光沢のある紫色や青色にみえる。

✎ **メ モ** 雑食性で、おもに草木の実や種子、昆虫類を採食している。

H **どこで観察できる?**
国内：留鳥または漂鳥。農耕地や河原から、市街地までひろく分布。
奥多摩：留鳥。一年を通して、河川、丘陵地、低山を中心に生息。

石観察での持ち物とポイント

河原での観察を楽しむために、持ち物と準備をしっかりと整えましょう。

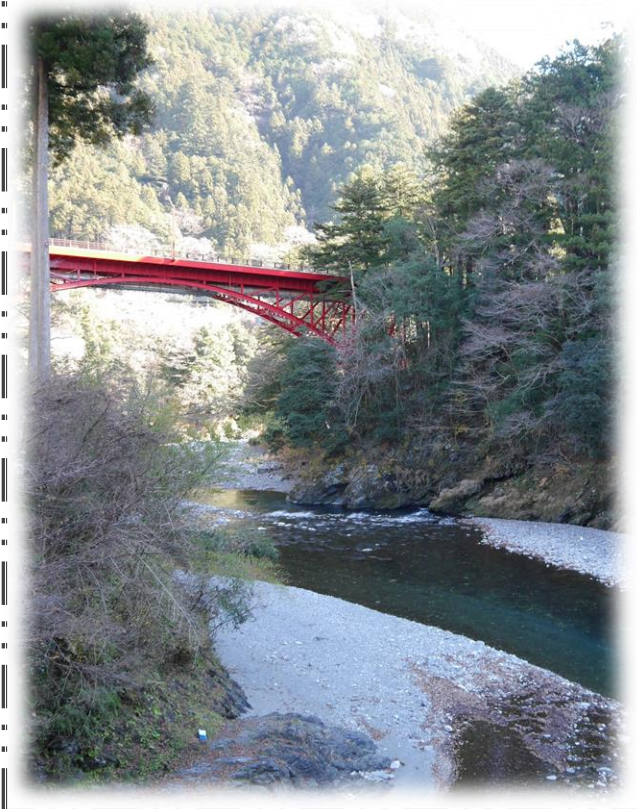
■服装と持ちもの■

- 日よけ帽子 手ぶくろ
- 長そでシャツ 長ズボン
- はきなれた運動靴
- 夏は汗ふきタオル、冬は防寒着
- フィールドノートとえんぴつ
- カメラ ルーペ
- 雨具 虫よけグッズ
- 釘(石の見分けにつかう)

■河原に行くときのポイント■

- かならず 大人と一緒に 行く。
- 天気の変化やダムの放水による 急な増水 に気をつける。
- 事前にビジターセンターに寄って 情報収集 をする(館内には奥多摩の地質についての展示もあります)。

★氷川溪谷で石観察に挑戦



東京都 奥多摩ビジターセンター

URL : <http://www.okutama-vc.com/>
住所：東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
電話：0428-83-2037

公益財団法人 東京都公園協会

河原の石観察をしてみよう!

奥多摩ビジターセンターのすぐ近くにある氷川渓谷は、多摩川と日原川の合流地点にあり、河原で奥多摩の石を観察するには最適な場所です。

普段はじっくりと見る事のない河原の石ですが、よく見てみるとさまざまな特徴のある石がまつまっていることがわかります。

さあ! みなさんも、氷川渓谷の河原で奥多摩ならではの石を観察してみましょう。



河原の石のふるさとは?

氷川渓谷の河原で見つかる石は、どこから来たのでしょうか? 石は自力で移動することができません。その代わりに、大雨や台風で増水したとき水の力によって上流から下流に向かって運ばれていきます。

たとえば、氷川渓谷の河原でよく見つかる石灰岩という石は、日原地域に多くあります。これが、雨や風によって風化して、大きな岩から石になり、日原川を流されて氷川渓谷まで運ばれているのです。同じように、上流にある沢や支流から、増水するたびに石が流されて氷川渓谷へ集まってきます。つまり、氷川渓谷の河原にある石を観察することで、奥多摩の上流域にどのような地質・岩石があるのかを知ることができるのです。

氷川渓谷で見つかる石図鑑

ここでは氷川渓谷の河原で見つかるおもな石を6種類ご紹介します。ぜんぶ見つけられるかな?

チャート

奥多摩を代表する石のひとつ。とても硬いためハンマーでたたくと火花が見えることがある。

石灰岩

奥多摩を代表する石のひとつ。食品や農業、医療などの産業に利用されている。酢(酸)をかけると泡(二酸化炭素)がでる。

れき岩

多摩川でたくさん見つかる石。砂の粒が集まってできている。

泥岩

泥が固まってできた石で、平たいかたちをしていることが多い。

砂岩

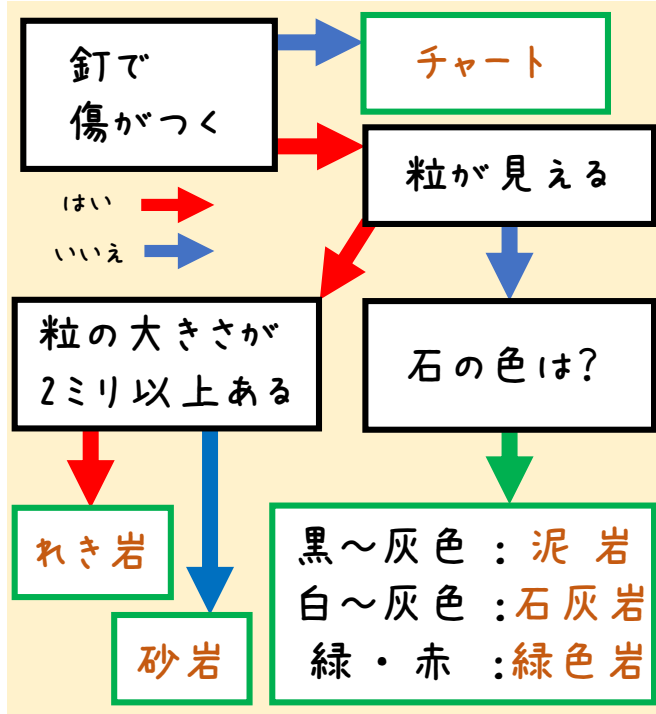
細かい火山灰などに熱が加わるとできる。「緑色岩」という名前ですが赤いものもあります。

緑色岩

れき岩(砂よりも大きな石粒)が集まり固まった石。

石の見分けに挑戦!

氷川渓谷の河原で見つかる石の見分けに挑戦してみよう。それぞれの特徴や違いが分かるようになる、もっと石が好きになるよ!



不思議な石 メランジュ

チャート、石灰岩、泥岩など、いろんな石が強い圧力で混ざった石。お菓子のメレンゲと語源は同じ。

人工物に注意!

河原では、右のようなコンクリートのほか、レンガやタイルの欠片があることも。これらは天然の石ではありません。

参考文献: 萩谷宏ほか(2012年)『小学館の図鑑NEO 岩石・鉱物・化石』小学館
「多摩川の石」編集委員会(2003年)『河原の石のしらべ方 多摩川の石』地学団体研究会

※奥多摩町の全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれます。国立公園の利用マナー・東京都自然公園利用ルールを守り、観察後の石は元の場所に戻しましょう。